

横浜市立大学 大学院

国際マネジメント研究科

研究科案内

2026

ビジネスの
最先端を
リードする人材へ

公立大学法人 横浜市立大学
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

YCU
横浜市立大学



ビジネスの最先端をリードする人材へ

近年のグローバル化による社会・経済活動の変化により、大学院は、新たな学問領域の創設や社会制度の変革の一翼を担う必要があります。

国際マネジメント研究科では、急速なグローバル化により、国際市場環境の直接的な影響を受けるようになった企業の環境に注目し、国際的な経済環境の変化を素早く合理的に分析し、的確な戦略を実行でき、企業の海外進出、特にアジアへの進出に重点を置き、本格的な海外展開を検討する企業およびこれらの企業を支援する組織に対して、国際的なマネジメントの知識、戦略およびセンスを備えた人材を育成します。

横浜市立大学沿革

明治	4年	仮病院設立	7年	文理学部を改組、国際文化学部・理学部設置
	5年	横浜中病院開院。中病院を移転、横浜共立病院開院		横浜市立大学看護短期大学部設置
	7年	十全医院に改称	8年	大学院国際文化研究科(博士後期課程)設置
	15年	横浜商法学校設立	9年	大学院経済学研究科(博士後期課程)設置
	21年	横浜商業学校に改称		医学部附属高等看護学校廃止
大正	24年	横浜市十全医院に改称	10年	大学院医学研究科(医科学専攻／修士課程)設置
	6年	横浜市立横浜商業学校(Y校)に改称	12年	医学部附属浦舟病院を医学部附属市民総合医療センターに改称
	昭和 3年	横浜市横浜商業専門学校(Y専)設立	13年	大学院総合理学研究科(連携大学院／生体超分子システム科学専攻博士後期課程)設置
	8年	横浜経済研究所設置		鶴見キャンパス設置
	19年	横浜市立経済専門学校に改称	15年	大学院医学研究科(博士課程)再編
		横浜市立医学専門学校設置	17年	公立大学法人横浜市立大学発足
		横浜市立医学専門学校附属十全医院に改称		商学部・国際文化学部・理学部の3学部を統合、国際総合科学部設置
	22年	旧制大学に昇格、横浜医科大学となる。		看護短期大学部募集停止。医学部に統合し医学部看護学科を設置
	24年	新制大学として横浜市立大学設置(商学部)		経営学研究科、経済学研究科、理学研究科、国際文化研究科を統合、
		横浜市立大学経済研究所に改称		大学院国際総合科学研究科設置
		横浜医科大学病院に改称		教養部、経済研究所廃止
	27年	文理学部設置	20年	看護短期大学部廃止
		横浜市立大学と統合、医学部設置	21年	大学院国際総合科学研究科再編、都市社会文化研究科、生命ナノシステム科学研究科、国際マネジメント研究科を設置
	29年	横浜市立大学医学部病院に改称	22年	大学院医学研究科看護学専攻(修士課程)設置
	36年	大学院医学研究科(博士課程)設置	25年	大学院生命医科学研究科設置
	38年	教養部設置	30年	データサイエンス学部、大学院医学研究科看護学専攻(博士後期課程)設置
	41年	市立高等看護学校／市立准看護学校開校	31年	国際総合科学部を再編し、国際教養学部、国際商学部、理学部を設置
	45年	大学院経営学研究科(修士課程)、大学院経済学研究科(修士課程)設置	令和 2年	データサイエンス研究科設置
	46年	市立高等看護学校／市立准看護学校を再編、医学部附属高等看護学校に改称	5年	データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻(博士後期課程)設置
	59年	財団法人木原生物学研究所より移管され、木原生物学研究所設置		
平成	元年	大学院総合理学研究科(修士課程)設置		
	3年	大学院経営学研究科(博士後期課程)、大学院総合理学研究科(博士後期課程)設置		
		医学部附属病院、医学部附属浦舟病院開院		
	5年	大学院国際文化研究科(修士課程)設置		



研究科長からのメッセージ

2025年4月現在、日本の経済活動はコロナ禍以前の賑わいを取り戻しつつあります。一方で、物価高、ロシアと中東などの世界情勢の不安定化、AI技術の進展など、これまで以上に社会経済の変化が予想されます。社会科学を教育し研究する国際マネジメント研究科では、常に社会の現実

に眼を向けその変化に敏感でありたいと考えます。
先行きが不透明な現代社会の中で、国際マネジメント研究科は、国際ルールに精通し、これにより市場環境や制度の変化に対応していくスキルを身につけている人材、グローバル化の中で企業全体のクオリティを高めていける人材、および海外地域の産業集積を担っていける人材の養成を目的として2009年度に設置されました。2016年度からは、海外からも注目される日本のサービス・ビジネスについて専門的な研究を実施できるようにサービス・サイエンス研究プログラムを開設し、グローバル化を進める企業などでサービスのスペシャリストとして活躍できる人材養成に取り組んできました。

教育・研究の特色

従来のマネジメント教育に加え、 ソーシャル・イノベーション修士プログラム(SIMBA)を展開

SIMBAプログラムでは、社会課題解決をめざし、社会人と学生を対象とした、経営学・経済学の知識やスキルを習得するためのプログラムです。ヘルス領域、社会福祉領域、その他の公共サービス領域など社会的な諸課題に対して、データに基づく経営管理手法のスキルを活かし、地域社会で活躍する、幹部あるいは幹部候補のリーダーとして活躍する人材を育成することを目的としています。

経済学分野にYCU EconMastersプログラムを新設

国際マネジメント研究科の経済学分野(修士・博士課程)では、学部からの一貫教育によって、好調な就職(シンクタンク研究職、国立大学研究職など)や学会賞受賞などの成果がでています。そこで24年4月に、経済理論とデータ分析スキルの双方を備える人材＝デジタル人材を育成する新しいプログラム「YCU EconMastersプログラム」を経済学分野に新設しました。

インターンシップ、フィールドワークの単位認定

実務を重視する立場から、海外展開を行っている企業や官公庁へのインターンシップや海外の市場調査または制度調査等のフィールドワークについても単位として認定しています。

研究科長 白石 小百合

そして国際マネジメント研究科では、2021年度から、ソーシャル・イノベーション社会人MBAプログラム(SIMBA)を設置しました。横浜市にも社会課題が多く表出する中、こうした課題解決のスキルを習得し国際社会で活躍する人材を育成することを目的としています。さらに2024年度から、欧米や国内主要大学で採用されているコースワーク型の経済学教育を展開する、YCU EconMastersプログラムを新設し、経済学をベースに高度なデータ分析手法を駆使して地域社会のウェルビーイングに貢献する人材育成に取り組みます。

このように、本研究科は社会の要請に応じ、常にビジネスの最先端の諸課題に対応できる人材を輩出する教育・研究機関をめざしています。明確な研究課題を持ち、その課題解決のための旺盛な研究意欲を有するみなさんが、本研究科で研鑽を積み、ビジネスの最先端をリードする人材となることを期待しています。

国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻

【入学定員と学位】

	入学定員	学 位
博士前期課程	20 名	修士（経営学または経済学）
博士後期課程	3 名	博士（経営学または経済学）

【カリキュラム構成と修了要件】

博士前期課程	以下の科目群から30単位以上の取得、および修士論文の審査を経て修了します。	
	研究指導（8単位以上）	修士論文作成に向けた研究指導を行う科目
	基礎科目（6単位以上）	マネジメント教育の前提となる基礎を固める科目
	応用科目（16単位以上）	研究の深化およびキャリアデザインに関連した科目
博士後期課程	以下の科目群から20単位以上の取得、および博士論文の審査を経て修了します。	
	特殊研究指導（12単位以上）	博士論文作成に向けた研究指導を行う科目
	専門応用科目（8単位以上）	各分野の専門性を深めるための講義科目

履修モデル（博士前期課程）

以下に典型的な履修モデルを示しておきます。(1)はYCU EconMastersプログラムを修了する場合、(2)はソーシャル・イノベーション研究プログラムを修了する場合、(3)は両プログラムを履修せずに修了する場合のモデルです。これらの例を参考にして各自の研究目的にあわせて、研究指導員と充分相談の上、履修する科目を決めてください。

(1) YCU EconMasters プログラムを修了する場合

履修例1			
経済理論とデータサイエンス力の双方を備える人材＝デジタル人材の育成			
学年	科目区分	科 目 名	単位数
1 年 次	基礎科目	ミクロ経済学研究	2
		マクロ経済学研究	2
		数量分析研究	2
	応用科目	ゲーム理論研究	2
		国際貿易論研究	2
		経済政策研究	2
		公共政策研究	2
		大学院特殊講義p,q(経済学原理)	2
		大学院特殊講義v,w(調査方法論)	2
	研究指導Ⅰ・Ⅱ		4
2 年 次	応用科目	金融論研究	2
		国際金融論研究	2
		大学院特殊講義j,k(Economic Analysis I)	1
		大学院特殊講義l,m(Economic Analysis II)	1
	研究指導Ⅲ・Ⅳ		4

【修了後の進路】

大学・国研究機関の研究職、シンクタンクの研究員

【研究テーマの例】

消費パネルデータを用いた電子商取引
職場の特性が介護職員の満足度に与える影響について
中国における排出量取引政策が企業価値に与える影響

(2) ソーシャル・イノベーション研究プログラムを修了する場合

履修例2 社会人履修モデル			
学年	科目区分	25年度 予定時間	科 目 名
1 年 次	基礎科目	集中(土)	ビジネス・マネジメント
		平日(夜)	マーケティング
		集中(土)	数量分析研究
	応用科目	集中(土)	ソーシャル・イノベーション
		集中(土)	公共マネジメント
		集中(土)	大学院特殊講義f・g(医療イノベーション経営)
		平日(夜)	大学院特殊講義n,o(医療経営分析)
		平日(夜)	ヘルス情報マネジメント
		集中(土)	サービス・マネジメント
		集中(土)	大学院特殊講義h,i(社会科学方法論)
		平日(夜)	ヘルスケア・ポリシーまたはヘルスケア・エコノミクス
	研究指導Ⅰ・Ⅱ		
	研究指導Ⅲ・Ⅳ		

【修了後の進路】

病院・介護施設経営、政策立案者、コンサルタント、非営利組織

【研究テーマの例】

サービス利用者数予測を踏まえた病院リソースの最適配置

履修例3 院生履修モデル			
学年	科目区分	25年度 予定時間	科 目 名
1 年 次	基礎科目	平日	ビジネス・マネジメント
		平日	数量分析研究
		平日	マーケティング
	応用科目	集中(土)	ソーシャル・イノベーション
		集中(土)	公共マネジメント
		集中(土)	大学院特殊講義f・g(医療イノベーション経営)
		平日(夜)	大学院特殊講義n,o(医療経営分析)
		平日(夜)	ヘルス情報マネジメント
		平日	公会計研究
		集中	グローバル・サービス・マネジメント
		平日	グローバル・マネジメント
		平日	グローバル・ヒューマンリソース・ディベロップメント
		平日	グローバル・オーガニゼーションズ
		平日	戦略管理会計研究
		集中(土)	大学院特殊講義h,i(社会科学方法論)
	研究指導Ⅰ・Ⅱ		
	研究指導Ⅲ・Ⅳ		

【修了後の進路】

医療・福祉、国際非営利組織、地方・政府機関

【研究テーマの例】

わが国におけるメディカル・ツーリズムの確立における課題と「おもてなし医療」の潜在的可能性



国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻

履修モデル(博士前期課程)

(3) 両プログラムを履修せずに修了する場合

履修例4

在外子会社(支店)の販売管理、市場調査、社内の情報技術や財務に精通し、在外子会社(支店)の業務を統括して、グローバル・ビジネスを展開できる人材の育成

学年	科目区分	科目名	単位数
1 年次	基礎科目	ビジネス・マネジメント	2
		マーケティング	2
		数量分析研究	2
	応用科目	グローバル・マネジメント	2
		グローバル・ストラテジー	2
		ファイナンシャル・マネジメント	2
		ヘルス情報マネジメント	2
		グローバル・オーガニゼーションズ	2
	研究指導Ⅰ・Ⅱ		4
2 年次	応用科目	財務会計理論研究	2
		グローバル・ヒューマン・リソース・ディベロップメント	2
		大学院特殊講義	1
		大学院特殊講義	1
	研究指導Ⅲ・Ⅳ		4

【修了後の進路】

在外子会社(支店)統括マネージャー、本社
在外子会社(支店)管理部門スタッフ、CIO

【研究テーマの例】

アジアにおける生産拠点の確立から販売拠点確立へむけた課題

履修例5

ミクロ経済学、マクロ経済学を基礎に、統計データに基づいた市場分析が行えるアナリスト、費用対効果に基づいた事業運営が行える行政官を育成

学年	科目区分	科目名	単位数
1 年次	基礎科目	ミクロ経済学研究	2
		マクロ経済学研究	2
		数量分析研究	2
	応用科目	ゲーム理論研究	2
		財政学研究	2
		金融論研究	2
		公共政策研究	2
		大学院特殊講義	2
	研究指導Ⅰ・Ⅱ		4
2 年次	応用科目	経済政策研究	2
		国際貿易論研究	2
		ヘルスケア・エコノミクス	2
	研究指導Ⅲ・Ⅳ		4

【修了後の進路】

大学院博士後期への進学、シンクタンクの
研究員、行政官

【研究テーマの例】

非伝統的な金融政策と銀行の収益

修了後の主な進路 2022～2024年度博士前期・後期課程修了者

【就職】

三井情報株式会社	日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社	中国銀行(BANK OF CHINA)
株式会社ニトリホールディングス	SFテクノロジー株式会社	楽天株式会社
公立大学法人横浜市立大学	富士通株式会社	横浜役所
内閣府経済社会総合研究所	株式会社ホンダカーズ横浜	株式会社浜銀総合研究所

修士論文テーマ例 2024年度修了者

- 日本の上場企業のCSR活動とR&D投資の関係性
 - 日本企業で働く外国人従業員の創造的自己効力感が高まる外部要因
 - YCU横浜早期肺癌診断プロジェクト2023(YCUP2023)における費用効果分析
 - 高齢者入所施設における看取りに関するマネジメントの研究
 - 電子商取引割合と家計別インフレ率
-消費パネルデータを用いた推定-
- 病院組織における心理的安全性が看護師のワーク・エンゲイジメントに及ぼす影響
 - 中国における排出量取引政策が企業価値に与える影響
 - 地域医療連携における逆紹介促進のための患者逆紹介選好尺度の開発と検証
 - 日本企業で働く元中国留学生の組織社会化の研究
 - 個人大口株主課税がペイアウト選択に与える影響

国際マネジメント研究科

教員紹介

岩佐 朋子 准教授

IWASA Tomoko

【担当科目】

〔博士前期課程〕
イノベーションの経済学



■ 連絡先

E-mail: iwasa@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

英国サセックス大学 修士(国際経済学)
一橋大学経済学研究科博士後期課程 博士(経済学)
文部科学省科学技術政策研究所研究員として勤務
2004(平成16)年より現職

■ 研究テーマ

企業の行動や戦略について経済学の視点から研究を行っています。特に、競争力の源泉であるイノベーションの問題や、需要の縮小に伴う産業構造の変化の問題に取り組んでいます。

■ 研究指導方針

イノベーションに関わる諸問題を理解するために、経済学、経営学、統計学などの様々なアプローチが複合的に用いられる研究分野です。国内外で発表された先行研究をしっかりと踏まえた上で、現在起こっている応用問題に取り組んでいきます。

大澤 正俊 教授

OSAWA Masatoshi

【担当科目】

〔博士前期課程〕ビジネス法務研究
〔博士後期課程〕ビジネス法務特殊研究



■ 連絡先

E-mail: osawa@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 320

■ 経歴・研究活動等

1998(平成10)年 明治大学大学院 法学研究科 博士後期課程満期退学
1998(平成10)年 横浜市立大学 商学部 専任講師
2009(平成21)年より横浜市立大学大学院 国際マネジメント研究科 教授

■ 研究テーマ

不動産の権利関係についての理論研究

■ 研究指導方針

『ビジネス法務』の研究領域は広範多岐にわたるので、個々の院生の研究目的に合わせた研究指導を行う予定です。

教員紹介

大塚 章弘 教授

OTSUKA Akihiro

【担当科目】

（博士前期課程）経済政策研究
（博士後期課程）経済政策特殊研究



■ 連絡先

E-mail: otsuka@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

岡山大学大学院文化科学研究科修了。博士（経済学）。一般財団法人電力中央研究所を経て、2016（平成28）年より現職。

■ 研究テーマ

都市経済学と地域経済学に関する実証研究。持続可能な地域経済システムとエネルギーに関する経済分析を実施しています。

■ 研究指導方針

都市と地域の経済システムやメカニズムに興味を持つことが大切です。都市経済学と地域経済学の学術体系に則り、理論的検討を踏まえた実証研究を重視します。経済・産業データを収集し、研究仮説を立てて実証分析ができるよう指導します。

加藤 弘陸 准教授

KATO Hirotaka

【担当科目】

（博士前期課程）ヘルスケア・エコノミクス
数量分析研究



■ 連絡先

E-mail: kato.hir.lh@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 317

■ 経歴・研究活動等

経歴：京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士（経済学）。慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科特任助教、横浜国立大学国際商学部講師を経て、2024（令和6）年より現職。研究活動（公刊論文）："Patient mortality after surgery on the surgeon's birthday: observational study," BMJ 2020など。

■ 研究テーマ

医療経済学を専門としています。主に日米の大規模医療データ（レセプトデータ等）を用いて、医療供給者や患者の行動を検証したり、医療政策の評価を行ったりしています。

■ 研究指導方針

医療経済学の理論や分析手法をしっかりと学んだうえで、実証分析を行ってもらいます。学生が自らの問題意識に基づいた良いリサーチ・クエスチョンを立て、優れた研究を行えることを目指して指導します。

鞠 重鎬 教授

KOOK Joongho

【担当科目】

（博士前期課程）財政学研究
（博士後期課程）財政学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: kook@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 303

■ 経歴・研究活動等

一橋大学経済学研究科博士後期課程修了。博士号（経済学）。一橋大学経済学部助手として勤務。その後韓国租税財政研究院（国策研究機関）の研究委員を歴任。1999（平成11）年より本学に赴任

■ 研究テーマ

主な研究テーマは、「人的資本投資と租税政策」、「日韓の財政・租税体系の比較研究」、及び「地方税財政や政府間財政関係」に関する分野です。これらの研究テーマは、博士論文である『人的資本投資と租税政策の経済効果』（一橋大学）と、『韓国と日本の租税体系の特性に関する比較研究』（韓国の高麗大学）とに深く関わっていますが、最近では地方税財政の研究にも関心が深いです。

■ 研究指導方針

研究指導の際、念頭に入れるべきことは、学生の現在のレベルより「少し上（slightly more）」を目指すことだと思います。レベルが高すぎると興味なくなりやすく、低すぎるとつまらないと感じやすくなるからです。この「少し上」を目指すことが研究指導方針です。

佐藤 亨 准教授

SATO Toru

【担当科目】

（博士前期課程）公共マネジメント
ヘルス情報マネジメント



■ 連絡先

E-mail: sato.tor.he@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 315

■ 経歴・研究活動等

横浜国立大学経営学部卒。横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士課程前期修了。民間シンクタンクを経て2025年（令和7年）より現職。

■ 研究テーマ

公共マネジメントを専門としています。主に政府（国・地方自治体）の経営やパブリック・ガバナンスに関する研究を展開しています。政府はどうすれば機能するのか、政府に限界があるとすればどうすれば社会課題を解決できるのかをマネジメントの視点から研究しています。

■ 研究指導方針

公共マネジメントの最終的な目標は社会課題の解決にあります。研究で得られた知見を社会実装していくことを目標に指導していきます。

柴田 典子 教授

SHIBATA Noriko

【担当科目】

（博士前期課程）マーケティング
（博士後期課程）経営学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: shiban@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 313

■ 経歴・研究活動等

学習院大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学修士号（経営学）。2002（平成14）年に本学着任。

■ 研究テーマ

マーケティング論、消費者行動分析を専門とし、その中でもブランド論を中心とした研究、ケーススタディを行っています。象徴的消費にかかわる研究、特に「消費者行動における自分らしさ、自己表現」を自らの研究テーマとして取り組んでいます。

■ 研究指導方針

実際のマーケティング事象に強い関心があることが重要です。そして、自分の問題意識を掘り下げて研究テーマを設定し、理論と実証の両面からどのようにアプローチしていくのか、じっくりと考えていく姿勢が求められます。

白石 小百合 教授

SHIRAISHI Sayuri

【担当科目】

（博士前期課程）数量分析研究
（博士後期課程）計量経済学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: shira@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

上智大学外国語学部卒。慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得退学。博士（経済学）。社団法人日本経済研究センター、帝塚山大学を経て、2007（平成19）年より現職。

■ 研究テーマ

【行動経済学による幸福度研究、政策評価】
「あなたは全体的にみて幸せですか？」という問いを通して、人々の幸福感に対する個人の属性や社会的ネットワーク、政策の効果を研究しています。

■ 研究指導方針

実証分析を行うに当たり、現実の経済社会への関心を大切にします。計量経済学は経済学と統計学の双方を用いて分析することから、基礎的な積み重ねを重視します。



教員紹介

随 清遠 教授

SUI Qing-yuan

【担当科目】
（博士前期課程）金融論研究
（博士後期課程）金融論特殊研究



■ 連絡先

E-mail: usui@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 440

■ 経歴・研究活動等

経歴：東京大学経済学研究科博士課程修了。博士（経済学）。
東京都立大学助手を経て、1993（平成5）年4月より現職。
研究活動：著書と論文："Money and Government: A Study of
China and Japan from a Historical Perspective", 2022, Springer.
「銀行の配当政策と不良債権処理」、『金融経済研究』2018年
vol.41、pp.19-39など。

■ 研究テーマ

金融政策と銀行の産業別貸出。異なる局面における株価予測。
金融危機時の景気対策と健全性維持のトレードオフについて。

■ 研究指導方針

各自の研究テーマに即して関連研究の把握、理論モデルや分析
ツールの理解、独自の分析と検証などを繰り返しながら、学術論
文を作成してもらいます。

高木 俊雄 教授

TAKAGI Toshio

【担当科目】
（博士前期課程）グローバル・ストラテジー
（博士後期課程）経営学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: takagi.tos.hy@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 332

■ 経歴・研究活動等

明治大学大学院経営学研究科博士後期課程満期退学。博士
（経営学）。昭和女子大学グローバルビジネス学部を経て、2024
（令和6）年より現職。経営戦略に関する研究のほか、PBL
（Project Based Learning）の実施および効果に関する研究や産
官学連携活動に関する研究を行っている。

■ 研究テーマ

以下のテーマを中心に研究を進めているが、これ以外でも指導が
可能な領域もあるので、必要に応じて相談してほしい。
・制度的戦略に関する研究
・制度および掲げられた表象と組織行為に関する研究
・PBL/産官学連携と人材育成に関する研究

■ 研究指導方針

研究教育職をめざす学生、博士前期課程修了後に企業等に就職する
学生であっても研究方法論および調査方法の習得は重要であると思
えます。そのため、私の研究室ではこれらを十分に学んだうえで、各自
関心を持つ対象に対して調査研究を行ってみたいと思います。

高橋 隆幸 教授

TAKAHASHI Takayuki

【担当科目】
（博士前期課程）税務戦略研究
（博士後期課程）会計学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: takahasi@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 334

■ 経歴・研究活動等

中央大学大学院商学研究科博士後期課程退学
修士号（商学）
税理士業を経て
2000（平成12）年より本学に赴任

■ 研究テーマ

租税法のうち、主に法人税・所得税といった所得課税を研究して
います。租税が、納税者の行動・意思決定に与える影響の検証を
試んでいます。

■ 研究指導方針

修士課程1年次には、主に海外の様々な研究論文を読んで頂き、
問題意識を養い、研究テーマを設定して頂きます。テーマ決定後
は、論文執筆まで個別に指導します。

田場 弓子 准教授

TABA Yumiko

【担当科目】
（博士前期課程）国際貿易論研究



■ 連絡先

E-mail: taba.yum.qg@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 306

■ 経歴・研究活動等

早稲田大学大学院経済学研究科修了。博士（経済学）。早稲田大学教
育学部助手、二松学舎大学国際政治経済学部を経て2025年（令和7
年）より現職。

■ 研究テーマ

国際貿易の理論研究に取り組んでいます。主に、各国政府による戦
略的貿易政策が、国際市場における企業間競争に与える効果や、
社会的に望ましい政策のあり方について考えています。また、国際
貿易が各国企業の財の品質向上やイノベーション投資に与える影
響などについても研究対象としています。

■ 研究指導方針

学生が主体的に発見した社会的課題に対して、経済学のアナリシス
方法を用いて研究を行う能力の育成を目標としています。

中條 祐介 教授

NAKAJO Yusuke

【担当科目】
（博士前期課程）企業分析研究
（博士後期課程）グローバル・アカウン
ティング特殊研究



■ 連絡先

E-mail: nakajoy@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 339

■ 経歴・研究活動等

1992（平成4）年一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位修得
退学、横浜市立大学専任講師、2004（平成16）年同教授。2014（平成
26）年国際総合科学部長、2019（平成31）年理事・副学長、日本経済会
計学会副会長、2021（令和3）年日本ディスクロージャー研究学会会長
（2024（令和6）年3月末まで）。現在、日本会計研究学会評議員、日本イン
ンベスター・リレーションズ学会副会長、総務省地方独立行政法人人
計基準等研究会座長、総務省電気通信紛争処理委員会委員、証券ア
ナリスト検定試験委員、横浜市信用保証協会外部委員ほか。

■ 研究テーマ

(1) 会計政策論（利益マネジメント研究）
(2) Non-GAAP指標の開示とその効果検証
(3) 中期経営計画など非財務情報の研究
(4) 財務諸表分析

■ 研究指導方針

研究テーマの設定については、院生の自主性を重視します。設定
された研究テーマについて60分程度の報告と、それに対する討議
を繰り返し、学位論文を作成していきます。

張 櫻馨 教授

CHANG Ying-Hsin

【担当科目】
（博士前期課程）財務会計理論研究
（博士後期課程）会計学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: chang@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 338

■ 経歴・研究活動等

横浜市立大学商学部経営学科卒（学士（会計学））
横浜市立大学経営学研究科修士課程修了（修士（会計学））
横浜市立大学経営学研究科博士課程修了（博士（会計学））
2005（平成17）年 横浜市立大学准教授
2014（平成26）年 同教授

■ 研究テーマ

専門は財務会計です。会計情報（日本、米国と国際財務報告基
準）と経営者の情報開示戦略・投資家の行動との相互影響の解
明を中心に研究を行っています。

■ 研究指導方針

研究活動を進めていくにあたって、必要な文書力、情報検索力、
データ分析力とプレゼンテーション力の養成に重点を置き、指導
を行います。

中園 善行 教授

NAKAZONO Yoshiyuki

【担当科目】
（博士前期課程）※2025年度は担当科目なし
（博士後期課程）経済学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: nakazono@yokohama-cu.ac.jp

■ 経歴・研究活動等

経歴：東京大学経済学部経済学科卒業。東京海上日動火災保
険、早稲田大学大学院経済学研究科博士後期課程、日本学術
振興会特別研究員、早稲田大学大学院ファイナンス研究科助教
を経て現職。博士（経済学）。

■ 研究テーマ

専門はマクロ経済学です。経済主体が形成する期待と実体経済
の相互依存関係に関心を持っています。

■ 研究指導方針

理論と実証のバランスの取れた研究指導を目指します。

教員紹介

長畑 周史 准教授

NAGAHATA Shushi

【担当科目】
〔博士前期課程〕
コーポレート・ガバナンス研究



■ 連絡先

E-mail: nagahata@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 336

■ 経歴・研究活動等

2008年慶應義塾大学大学院法学研究科 後期博士課程民事法学専攻単位取得退学。青森中央学院大学経営法学部 専任講師を経て2012(平成24)年より現職。2022(令和4)年4月～8月ブリティッシュコロンビア大学ロースクール付属アジア法研究所客員教授。

■ 研究テーマ

商法(主に会社法)が私の専門分野です。現在、内部統制中心にコーポレートガバナンスについて研究しています。

■ 研究指導方針

経営学や経済学に共通する諸問題を法学的視点から検討します。受講者のこれまでの学習内容に法学的視点を取り入れ、さらに発展させられるように指導を行います。入学後に指導教員として希望する場合は「ビジネス法務」を受験して下さい。

根本 裕太郎 准教授

NEMOTO Yutaro

【担当科目】
〔博士前期課程〕サービス・サイエンス



■ 連絡先

E-mail: nemoto.yut.wa@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 324

■ 経歴・研究活動等

首都大学東京大学院システムデザイン研究科博士後期課程修了。博士(工学)。学位取得後、日本電気株式会社、東京都立産業技術研究センターを経て、2022(令和4)年9月より現職。サービス学会理事。

■ 研究テーマ

専門はサービス学、デザイン学です。社会科学的アプローチと工学的アプローチの両輪で、次のようなテーマを研究しています。ウェルビーイング志向のサービスやデザイン方法論に関する研究／サービス組織におけるテクノロジー活用に関する研究／製造業のサービスビジネスに関する研究。

■ 研究指導方針

サービス学は雑食な学問であり、様々な分野の知識を繋いでいくことで見えてくるものがあります。領域横断的な文献調査を通じて、各々が独自の知識ネットワークを構成し、密度の高い議論を展開できるよう指導します。研究指導もまたサービスであるため、その本質である価値共創を意識し、一緒に成果を創り上げていきたいと考えています。

中村 祐太 准教授

NAKAMURA Yuta

【担当科目】
〔博士前期課程〕※2025年度は担当科目なし



■ 連絡先

E-mail: y_naka@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 316

■ 経歴・研究活動等

慶應義塾大学経済学研究科後期博士課程修了。博士(経済学)。慶應義塾大学経済学部助教を経て、2020(令和2)年より現職。

■ 研究テーマ

メカニズムデザイン/マーケットデザインというゲーム理論の応用分野を専門とし、オークションルールや選挙制度の設計に取り組んでいます。最近、ブロックチェーン上の制度設計にも関心があり、これまでの学知をうまく活用できないか模索しています。

■ 研究指導方針

経済理論の研究には数学的知識はもちろんのこと、定理の証明をクリアに書く能力が必須となります。したがって、修士課程1年次には数学と経済理論の基礎を学んでもらい、2年次以降は海外の先端論文を読み進め興味のあるテーマを各自で設定してもらいます。

橋本 倫明 准教授

HASHIMOTO Noriaki

【担当科目】
〔博士前期課程〕グローバル・マネジメント



■ 連絡先

E-mail: hashimoto.nor.nt@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 326

■ 経歴・研究活動等

慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(商学)。あずさ監査法人勤務、慶應義塾大学商学部助教、東京都市大学都市生活学部講師・准教授を経て、2024(令和6)年より現職。経営哲学学会常任理事。

■ 研究テーマ

以下のテーマに関して、組織の経済学や科学哲学のアプローチを用いた理論的・概念的な研究を主として行っています。
(1) 企業の本質(目的、行動原理、機能)とは何か
(2) 変化する事業環境の下で企業は戦略、組織、企業境界、ガバナンスをどのように変革するのか

■ 研究指導方針

経営理論の基礎学修、研究論文の輪読、ディスカッション、プレゼンテーションを通じて、自ら問題を発見し、独自の切り口から解決を提示し、他者を説得する力を養成します。研究対象は幅広く認め、各自で関心のある研究テーマを設定してもらいます。

原 広司 准教授

HARA Koji

【担当科目】
〔博士前期課程〕ソーシャル・イノベーション
ビジネス・マネジメント
〔博士後期課程〕経営学特殊研究



■ 連絡先

E-mail: hara.koji.vv@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 311

■ 経歴・研究活動等

大阪市立大学商学部卒。大阪市立大学大学院経営学研究科博士前期課程修了(経営学修士)後、京都大学大学院医学研究科医療経済学分野にて博士後期課程修了(社会健康医学博士)。京都大学を経て、2021(令和3)年より現職。

■ 研究テーマ

医療経営、医療経済・政策に関する研究を中心に、介護や健康全般を対象とした研究も行っています。とくに、患者満足度およびQOLの測定と評価、組織文化、医療資源の地域差に関する実証研究に取り組んでいます。

■ 研究指導方針

医療と経営学の融合を目指し、医療の特殊性を考慮に入れたうえで医療分野への経営学の知見の応用、発展を意図した研究を行ってまいります。

三浦 敬 教授

MIURA Takashi

【担当科目】
〔博士前期課程〕国際財務会計
〔博士後期課程〕財務会計特殊研究



■ 連絡先

E-mail: takashim@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 340

■ 経歴・研究活動等

1985(昭和60)年3月横浜市立大学商学部卒業。1987(昭和62)年3月横浜市立大学大学院経営学研究科修士課程修了(経営学修士)。1991(平成3)年3月一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位修得満期退学。(主要著書)『会計ディスクロージャーの新機軸』(共編著)(東京経済情報出版)、『財務会計論講義』(共編著)(東京経済情報出版)、『検定簿記講義2級商業簿記』(共著)(中央経済社)

■ 研究テーマ

- (1) 自主的会計ディスクロージャーの効果の分析
- (2) 国際財務報告基準がわが国の会計実務に与える影響の分析
- (3) 会計ディスクロージャーにおける会計情報と非会計情報の役割

■ 研究指導方針

博士前期課程および博士後期課程ともに研究者の養成を研究指導の主眼としています。そのため博士前期課程では、研究のための基礎力の養成を目標に据え、博士後期課程では大学や研究機関で第一線の研究を進める上で不可欠な様々な能力の習得を目指します。

藤崎 晴彦 准教授

FUJISAKI Haruhiko

【担当科目】
〔博士前期課程〕戦略管理会計研究



■ 連絡先

E-mail: fujisaki@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 330

■ 経歴・研究活動等

早稲田大学商学部卒。早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学(商学修士)。横浜市立大学商学部講師、助教授を経て2005(平成17)年より現職

■ 研究テーマ

戦略的管理会計
現代企業経営に即した管理会計システムがどうあるべきか、主に戦略マネジメントシステムの観点から分析します。特に、1990年代以降のコストマネジメントシステムである活動基準原価計算(ABC)ならびに業績管理システムであるバランスト・スコアカード(BSC)適用に伴う組織文化への影響を考察します。

■ 研究指導方針

学生自らが問題発見、問題解決できるよう、先行研究の精読を行うとともに、学部生とともに行う企業訪問や工場見学といったフィールドワークも取り入れた指導を行います。

吉永 崇史 教授

YOSHINAGA Takashi

【担当科目】
〔博士前期課程〕グローバル・オーガニゼーションズ
〔博士後期課程〕グローバル・オーガニゼーションズ
特殊研究



■ 連絡先

E-mail: tyoshina@yokohama-cu.ac.jp
文科系研究棟 319

■ 経歴・研究活動等

青山学院大学国際政治経済学部卒業。中央三井信託銀行株式会社での勤務を経て、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士後期課程修了。博士(知識科学)。北陸先端科学技術大学院大学科学技術開発戦略センター研究員、富山大学学生支援センター特命准教授を経て、2013(平成25年)に着任。

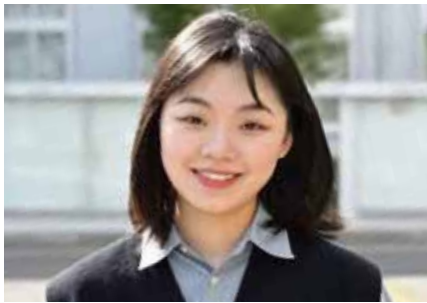
■ 研究テーマ

多様性を志向する経営組織と、組織活性化のためのコミュニケーションについて、ナレッジ・マネジメント(知識経営)やナラティブ(物語)・アプローチの観点から、質的研究手法に基づき研究を行っています。

■ 研究指導方針

学生自らの問題意識に基づきリサーチ・クエスションの設定プロセスを重視します。その上で、先行研究レビュー、適切な研究方法(データ収集・分析方法)の選択、調査計画立案・実施、調査結果の考察、論文執筆について、対話を積み重ねながら指導を行っていきます。

在学生からのメッセージ



リ ネイ
李 寧怡 国際マネジメント専攻
博士前期課程2年

主指導教員 原 広司 先生

卒業後の目標

卒業後は博士後期課程に進学したいと考えています。将来は研究者として専門的な視点から社会にふれ、貢献したいと考えています。

YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

学部時代に所属していた医療経営ゼミの指導教員のもとで引き続き学びたいと考え、学内推薦でこの研究科に進学しました。国際マネジメント研究科の授業は、一般の学生だけでなく実務経験のある社会人の方も多く在籍しています。そうした社会人学生と出会い、現場に近いリアルな話を聞いたことは、非常に貴重な経験であり、実際に良かったところの一つです。

現在の研究テーマ、内容や状況

現在、日本に長期滞在している外国人の医療アクセスに影響を与える促進要因と阻害要因について研究しています。在留資格に基づき、永住者と家族滞在者にインタビュー調査を行い、どのような診療行動やルートで医療機関にアクセスしているのかを調査しました。その結果を論文にまとめています。今後は医療アクセスに関する認知度を調べ、尺度を用いてアンケート調査を実施する予定です。

これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

国際マネジメント研究科では、先生方との距離が近く、丁寧な指導のもとで研究できます。また、授業の組み方も柔軟性が高く、自分の関心や研究テーマに合わせて履修計画を立てることができます。ぜひ受験してみてください！

2024年度 時間割

前 期						
	月	火	水	木	金	土
1				数量分析研究		ビジネス・マネジメント
2			マーケティング	イノベーションの経済学		医療イノベーション経営
3						ソーシャルイノベーション
4						ソーシャルイノベーション
5						サービス・ビジネス・マネジメント
6				研究指導Ⅰ		サービス・ビジネス・マネジメント
7						

後 期						
	月	火	水	木	金	土
1				グローバル・ストラテジー		社会科学方法論
2						社会科学方法論
3						
4						
5						
6				研究指導Ⅱ	ヘルスケア・ポリシー	
7					ヘルスケア・ポリシー	



かわかみ ちとせ
川上 千年 国際マネジメント専攻
博士前期課程2年

主指導教員 根本 裕太郎 先生

卒業後の目標

医療業界だけでなく、人材不足は今後避けて通れない課題の中、職務満足度の高い職場が作れば、自ずと評判が良くなり、優秀な人材を引き寄せることができるのではないかと思います。最終的には、臨床工学技士だけでなく、病院スタッフ全員が働き続けたいような病院作りに少しでも貢献できたいと思っています。

YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

臨床工学技士として病院で働いていますが、新型コロナウイルスのパンデミックを経験し、医療の質を維持しながら効率的な運営を行うことが、患者さんとスタッフの両方にとって重要であると感じました。病院経営の視点を持っていない私にとって、医療健康領域、社会福祉領域、公共サービス領域の諸課題について、データに基づく経営管理手法を習得できる社会人SIMBAプログラムは大変魅力的だったため選びました。授業は、少人数ということもあり、先生や学生同士の距離が近いことで学びの質が高いと感じています。

現在の研究テーマ、内容や状況

大学病院で働く臨床工学技士の、職務満足・ワークエンゲイジメントに影響を与える因子を、インタビュー・アンケートを実施・分析することで、臨床工学技士が働き続けたいと思える職場づくりに役立てられるような研究を行っています。

これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

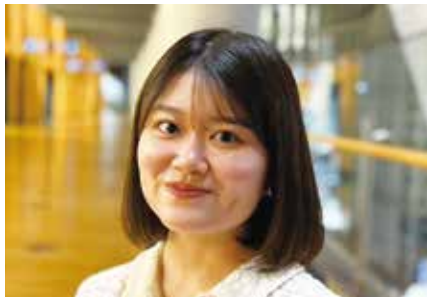
社会人大学院生として授業を受けるのは楽しい部分もありますが、実際は時間との戦いです。しかし、先生方の柔軟な日程調整や指導のおかげで、毎授業本当に多くのことを学ぶことができます。自分の成長を実感できる瞬間がたくさんありますので、ぜひ挑戦してみてください。

2024年度 時間割

前 期						
	月	火	水	木	金	土
1						ビジネス・マネジメント
2						数量分析 ソーシャルイノベーション
3						医療イノベーション サービスサイエンス
4						
5						
6		研究指導		研究指導	マーケティング	
7		研究指導		研究指導	マーケティング	

後 期						
	月	火	水	木	金	土
1						社会科学方法論 ヘルス情報 マネジメント
2						
3						
4						
5						
6		研究指導		研究指導	ヘルスケアポリシー	
7		研究指導		研究指導	ヘルスケアポリシー	

Message from students



とうま ねいな
當眞 寧菜 国際マネジメント専攻
博士前期課程2年

主指導教員 高橋 隆幸 先生

卒業後の目標

卒業後は大学院で培った専門性の高い知識を活かし、税務の分野で社会に貢献できるような仕事に携わりたいと考えています。

YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

私は学内推薦で入学しました。この研究科を選んだのは、学部生のころからお世話になっている先生方のもとで、より専門的な学びを深められることに魅力を感じたからです。実際に進学してみて、先生方が学生一人一人にしっかりと目を配ってくださること、少人数の授業で集中して学べる環境があることが、とても良いところだと感じています。

現在の研究テーマ、内容や状況

私の研究テーマは、税制が役員退職金に与える影響についてです。統計やデータベースを用いた実証分析によって、その関係性を明らかにすることを目指しています。大学院1年次は国内外の文献を収集し、先行研究を参考に分析モデルの構築を検討してきました。現在はその成果をもとに、分析に必要な役員報酬額データの収集を進めているところです。

これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

この研究科では先生方が一人一人に丁寧に向き合ってくださいるので、安心して学ぶことができます。また、少人数の授業では集中して議論に参加でき、自然と理解も深まります。私自身もここで、自分のペースで確実に成長できていると実感できています。興味がある方は、ぜひチャレンジしてみてください。

2024年度 時間割

前 期						
	月	火	水	木	金	土
1		会計方法論		数量分析		
2	財政学			上級会計学		
3	コーポレートガバナンス	国際租税法				
4						
5						
6		研究指導				
7						

後 期						
	月	火	水	木	金	土
1				財務会計課題		
2						
3						
4						
5						
6		研究指導				
7						



たかはし じゅん
高橋 淳 国際マネジメント専攻
博士後期課程2年

主指導教員 中園 善行 先生

卒業後の目標

博士号取得後は、大学等で研究を続けたいと思っています。自身の専門を確立し、専門分野の最先端で研究をしながら教育活動にも力を入れる研究者を目指しています。

YCU国際マネジメント研究科を選んだ理由や、実際に良かったところ

私が本研究科を志望した理由は、中規模の大学組織という特性から先生方との距離が近く、丁寧な研究指導を受けられる環境が整備されているためです。また、指導教員のみならず多様な専門領域を持つ先生方から研究指導を受ける機会が提供されている点は、本研究科の大きな魅力です。さらに、博士後期課程学生に対する経済支援制度（SPRINGプログラム等）が充実しており、進学に伴う経済的負担の軽減が期待できる点も、研究に専念できる環境の観点から魅力的です。

現在の研究テーマ、内容や状況

現在は男女間格差問題をマクロ・労働経済学的な視点から研究を行っています。指導教員からは研究の問いをどのように設定するか、設定した問いをいかに分析的に解決するか、さらに学術論文をどのように構成・執筆するかなど、実践的かつ体系的な研究指導を受けています。また、年に複数回の学会発表に加え、セミナーへの参加、学術論文の執筆、他の大学院生との定期的な輪読会など、多忙ではありますが充実した研究生生活を送っています。

これから国際マネジメント研究科の受験を考えている方へメッセージ

国際マネジメント研究科では、多くの先生方と密にコミュニケーションをとることができます。指導教員からは、日々熱心なご指導を頂いて感謝しています。入学された際には、ぜひ積極的に先生方とコミュニケーションをとり、勉学と研究に励んでいただきたいと思います。

2024年度 時間割

前 期						
	月	火	水	木	金	土
1						
2					特殊研究指導Ⅰ	
3						
4				情報の経済学 特殊研究		
5						
6						
7						

後 期						
	月	火	水	木	金	土
1				ワークショップ経済Ⅰ		
2						特殊研究指導Ⅱ
3						
4						経済学特殊研究(C)
5						
6						
7						

YCU

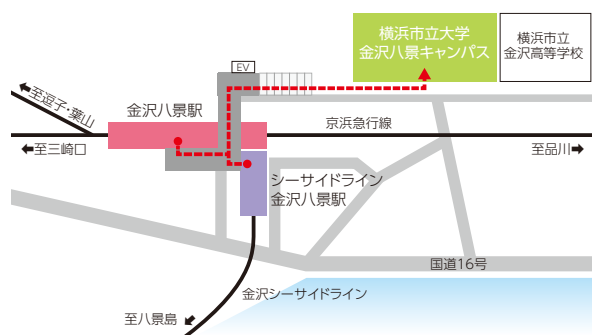
横浜市立大学



横浜市立大学 大学院
国際マネジメント研究科

金沢八景キャンパス

京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分
シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩5分



横浜市立大学

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2

TEL:045-787-2055 FAX:045-787-2057 https://www.yokohama-cu.ac.jp/int_manage/



@yokoichi



YCU_koho



yokohama_city_university



YokohamaCityUniv



[編集・発行]
横浜市立大学アドミSSIONズセンター